社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会
歳末たすけあい助成金給付事業実施要綱

(目的)

第1条 この助成事業は、歳末たすけあい募金の助成金により、地域活動や、グループ・団体が実施する当事者活動・事業を支援し、本運動のスローガンである「つながり ささえあう みんなの地域づくり」を実現することを目的とする。

(給付対象)

第2条 浜田市内に拠点をもつ、以下の団体またはグループを配分対象とする。

- (1) 子育てサロン
- (2) 高齢者サロン
- (3) 障害者の団体・親の会、または障害者を支援する団体・グループ
- (4) その他地域福祉活動を推進する団体等

(給付対象事業)

第3条 助成の対象となる事業は次のとおりとする。

- (1) 地域福祉推進活動事業
地域福祉の推進となる事業を対象とする。地域住民や他の世代との交流が図られることが望ましい。
- (2) 高齢者・子育てサロン推進事業
高齢者サロンまたは子育てサロンにおいて実施される、年末年始の特別メニューとし、他の世代との交流が図られることが望ましい。
- (3) 当事者団体・作業所等支援事業・施設における地域交流事業
施設、当事者団体、親の会、支援団体等が実施する、当事者のための事業を対象とする。
- (4) 要援護者、準要保護児童支援事業

(給付限度額)

第4条 当該年度の募金実績の範囲内で助成金を給付するものとし、1団体30,000円を限度とする。また、広範囲を対象とする事業については上限100,000円までとする。ただし、事業費の総額には自己資金を含めなければならない。

(対象期間)

第5条 事業対象期間は、毎年12月1日以降に始まり、1月31日までに事業が完了するものとする。

(給付金の申請)

第6条 給付を受けようとする団体等は、毎年3月1日から5月31日までに、歳末たすけあい配分金給付申請書(様式1号)及び、歳末たすけあい配分事業計画書(様式2号)および、その他必要書類を提出するものとする。

(給付金の決定)

第7条 給付申請書を受理した後、その内容を地域福祉推進助成金審査会にて審査し決定する。ただし、本運動の趣旨に沿わない事業と判断された場合は改善を求めた後、会長専決により決定する。

(会計処理)

第8条 給付を受けた団体等は、給付金の使途及び経理について内容を明らかにした帳簿及び証拠書類を整備しなければならない。

(事業対象外経費)

第9条 この事業を実施するための経費全額を対象とし、食事提供のための食材代、参加者へのプレゼントを制作するための材料代等を対象経費に含める。ただし、賃金、備品費に充当してはならない。

(給付金の返還)

第10条 本要綱に違反したとき及び次にかかげる事項に該当するときは、給付決定を取り消し、給付金の全部または一部を返還させることができる。

- (1) 給付金の指定事業に使用しないもの
- (2) 指定事業の遂行が困難になったとき
- (3) 指定事業を中止したとき
- (4) 給付金に剰余が生じたとき

(事業の広報)

第11条 給付を受けた団体等は、事業完了後、直ちに歳末たすけあい配分金精算書(様式3号)及び、事業報告書(様式4号)を提出するものとする。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

附則

この要綱は、令和3年3月1日から施行する